

雇用情勢

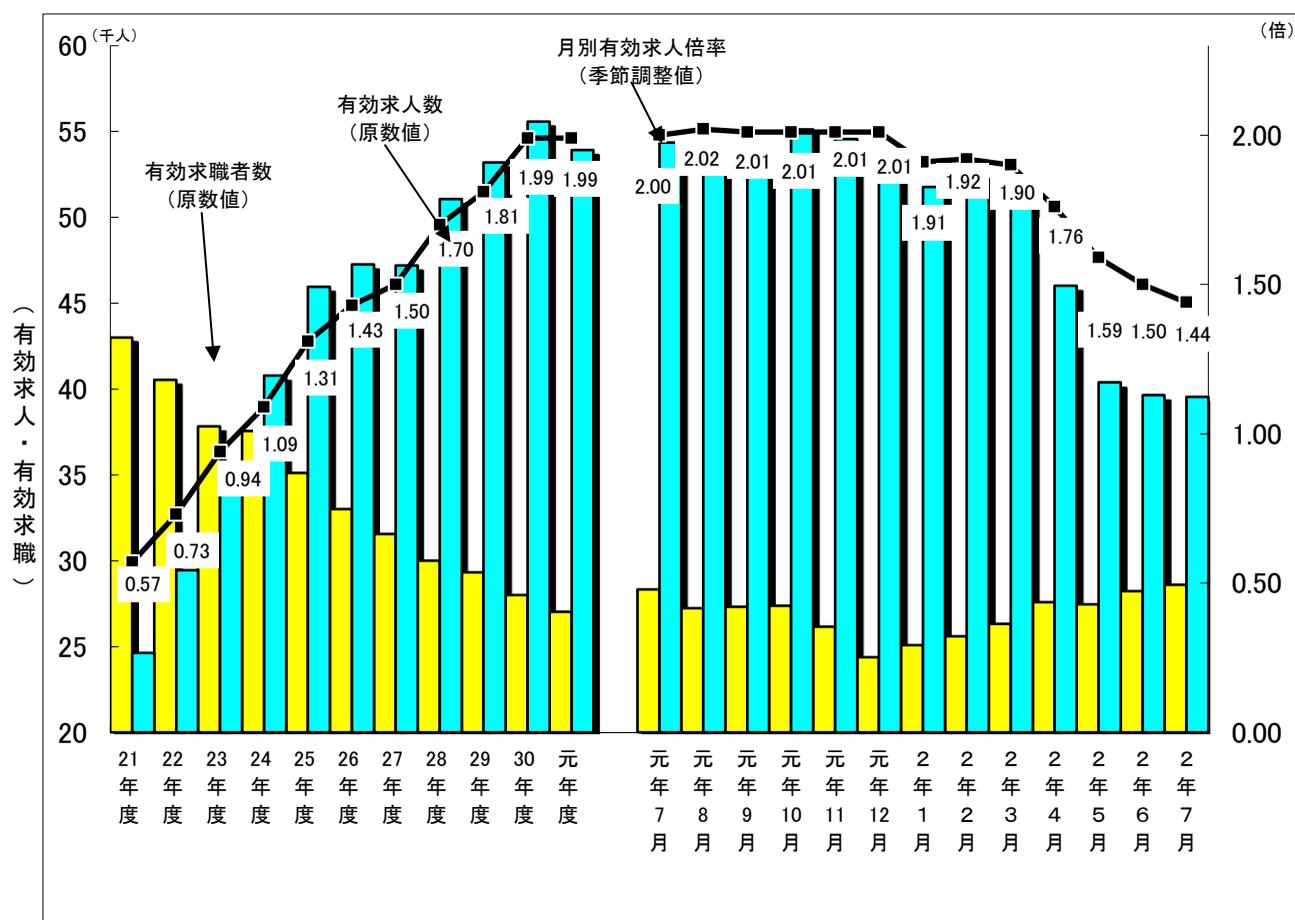
・雇用情勢のポイント — 7月の岡山県の有効求人倍率は1.44倍です。 —

令和2年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.44倍となり、前月と比べ0.06ポイント低下した。
前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は0.7%増加し、有効求職者数(季節調整値)は5.3%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、宿泊業・飲食サービス業(4.0%増)で増加したものの、建設業(4.0%減)、製造業(45.1%減)、運輸業・郵便業(30.7%減)、卸売・小売業(35.5%減)、医療・福祉(18.4%減)、サービス業(他に分類されないもの)(38.4%減)で減少したことから、全体では対前年同月比で25.5%減となり、9ヶ月連続で減少した。

新規求職者数(原数値)は、対前年同月比で4.5%減となり、2ヶ月ぶりに減少した。

このような状況から、「県内の雇用情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、求人が大幅に減少しており、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に十分注意する必要がある」と判断した。



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
有効求職者数	42,981	40,516	37,816	37,541	35,103	32,995	31,551	30,004	29,312	27,975	27,022
有効求人数	24,615	29,438	35,720	40,775	45,952	47,252	47,190	51,044	53,176	55,559	53,908
有効求人倍率	0.57	0.73	0.94	1.09	1.31	1.43	1.50	1.70	1.81	1.99	1.99

元 年 7 月	元 年 8 月	元 年 9 月	元 年 10 月	元 年 11 月	元 年 12 月	2 年 1 月	2 年 2 月	2 年 3 月	2 年 4 月	2 年 5 月	2 年 6 月	2 年 7 月
28,322	27,232	27,311	27,375	26,150	24,373	25,074	25,591	26,322	27,587	27,447	28,218	28,585
54,352	53,253	54,183	55,103	54,544	53,222	51,748	52,236	51,624	45,998	40,376	39,639	39,541
2.00	2.02	2.01	2.01	2.01	2.01	1.91	1.92	1.90	1.76	1.59	1.50	1.44

*月別の有効求職者数、有効求人数は原数値、有効求人倍率は季節調整値を計上。

・令和元年12月以前の数値は、新季節指数により改訂されている。

・季節調整は「センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)」を使用している。

*年度別の有効求人倍率は実数値を計上。